

新しい共同体のかたち

内山 節

震災後に芽生えてきた社会原理

① 日本の伝統的な共同体の多くは、経済活動と直接、間接的に結ばれていることが多いです。たとえれば農村共同体は、共同体が農業用水の管理や道普請などをすることによって、経済活動の基盤整備の部分を担っていました。職人や商人の共同体ともなれば経済活動との結びつきはいっそう強くなっています。【もちろん】経済活動とは結びつかない共同体もありました。①かたたとえば寺と檀家の共同体でさえ、この共同体が寺の経済基盤を支え、【また】檀家が苦境に【陥】ったときには寺が檀家を経済的に支えるというような関係は成立していたのです。持続的な共同体には暮らしを守り合うという側面がありま

② 震災後に芽生えてきているのは、このあり方の現代的なカタチのように思われます。地域やコミュニティ、共同体を再生するために外部の人たちも結びつき、共同して新しい事業を創造する。この事業は広範な支援者の支えによって成立し、そこに持続的な経済を等身大でつくりだすことによって、持続可能な地域、コミュニティ、共同体をつくりだそうとする。その構成メンバーは内部の人だけでなく、この活動に参加してくれる人を含めて、【つまり】共同体の構成メンバーのなかに関係を結んだ外の人たちも加わっている【かたち】です。

③ それは地域、コミュニティ、共同体という言葉の意味が、「何らかの経済活動を通して人々が持続的に結びつくとき、そこに地域やコミュニティ、共同体がある」というものに変わりつつあることを示しています。地域もまたそこで暮らししている人たちだけのものではない。その地域と結びつくことによって、そのあり方に自己の存在を諒解できる世界を感じる、【そういう人たちが】この地域は維持する【のです】。

④ ここに生まれつつあるものは、地域を軸にした新しい価値共有の世界です。関係を基盤として地域を【守】る。この関係のなかには狭い意味での地域内の関係だけでなく、【この地域と関係を結ぶ】という【こと】をする【すべての人々が含まれている】。そして関係の持続を目的とした経済活動のかたちが【模】索され、この経済活動は【多くの】支援者を獲得することによって成立している。それは市場原理を超えた経済活動であり、同時にこのことの中にコミュニティの成立がある。そういう価値を共有しながらひとつの社会原理をつくりだそうとする試みが、それもまたひとつの価値共有として展開しはじめています。

\*檀家…ある寺に属し、法事を依頼したり布施をしたりする家や信徒。

\*震災：東日本大震災。

本文ダイジェスト

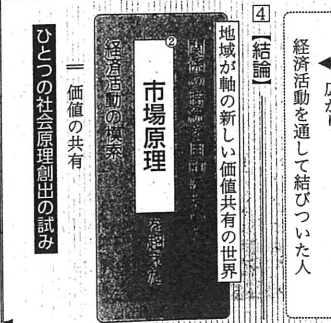
空欄にあてはまる語句を抜き出せ。

①【序論】 日本の伝統的な共同体 暮らしを守るために 経済活動と結びつく

②【本論一】 震災後の共同体 内部の人

③【本論二】 地域・コミュニティ・共同体 内部の人たち

④【結論】 地域が軸の新しい価値共有の世界 市場原理 価値共有 ひとつの社会原理創出の試み



問 傍線部⑦の読みを示し、①～⑤を漢字に改めよ。 [2点×4]

⑦	みちぶしん	①	担
⑧	陥	②	模索

ここは「スコーン」

空欄に適切な語句を入れよ。

2 普請：建築・土木工事。

5 苦境：追い詰められた立場。

9 コミュニティ：地域社会共同体。

10 広範：範囲が広いこと。

22 市場原理：市場がさまざまな過不足や均衡を自ら調整し最適化する仕組みや機能。

● 次の語句の類義語を語群から選べ。

18 諒解Ⅱ 了承

● 反応 了承 溶解

● 「共有」を含む次の文から、用法の誤っているものを選べ。

ア 価値観を共有する。

ウ 財産を共有する。

ア

問二 空欄補充 空欄A・Bにあてはまる語句を次からそれぞれ選べ。 [4点×2]

ア なげなら イ また

ウ もちろん

エ しかしながら

A ウ B イ

問三 傍線部①とあるが、その目的を本文中から十字以内で抜き出せ。 [4点]

問四 傍線部②とあるが、どんなところが「現代的」なのか。②段落中の表現を用いて十字以内で答えよ。 [7点]

問五 傍線部③とはどういうことか。次から選べ。 [6点]

ア 内外の賛同者が継続して結びつき、自分たちの力に見合った経済活動を行うこと。

問四採点基準 「共同体の構成メンバー」に「外部の人たちも含まれている」という二点がそろって正解。「外部の人たちも事業に参加している」など、「構成メンバー」にふれていないものはマイナス4点。「メンバーに外部の人たちも含まれている」など、「共同体」にふれていないものはマイナス2点。文末が「こと」「ところ」などになっていないものはマイナス1点。

イ 構成員の均等な支出によって、恒久的に平等な配分が可能な経済をつくりだすこと。

ウ 広範な支援を呼びかけることによって、永続的に地域の経済が発展すること。

エ 外部の人たちの支援が共同体を活性化し、震災前と同じ規模の経済をつくりだすこと。

オ 暮らしを守り合うのに必要な程度の経済を、持続的につくりだすこと。

問六 主題研究 傍線部④とはどういうことか。次から選べ。 [7点]

ア 外部からの支援者の参入が、コミュニティの存在意義を新しくし続けていること。

イ 単なる需給関係ではない経済活動によって、古い市場原理が衰退していること。

ウ 新しい市場原理に基づいてコミュニティが経済格差を小さくしつつあること。

エ 関係性を基盤とした経済活動の参加者たちによる、新たな共同体が形成されたこと。

オ 多くの支援者の獲得が持続的な経済活動を可能にしていること。

エ

# 新しい共同体のかたち

主題研究 震災後に芽生えてきた社会原理

本文は、東日本大震災後の新しい共同体のかたちについて述べたもの。冒頭で、日本の伝統的な共同体にふれたあと、震災後に芽生えてきた、共同体の「現代的なかたち」について説明している。筆者はまず、日本の伝統的な共同体は、「暮らしを守るため」に「経済的にも直接、間接的に支えていく」という仕組みを備えていたと指摘する。しかし震災後の共同体には、経済活動を通して持続的に結びついた外部の人たちも加わっており、そこでは関係の持続を目的とした経済活動が成立しているのだという。震災後の共同体で展開しはじめている「ひとつこの社会原理をつくりだそうとする試み」を読みとってこよう。

### 本文解説

#### 「読解のしかた」

##### 問一 空欄補充

接続語や副詞を補充する問題。空欄Aは、続く文の「しかし」と連動していることに注意しよう。

#### サポートパネル

「職人や商人の共同体ともなれば」  
 「経済活動との結びつきは、いつ、そう強くなっています」  
 ← (反対の事例・譲歩)  
 「A 経済活動とは結びつかない共同体もありました」  
 ← (筆者の主張)  
 「しかしたとえば寺と檀家の共同体でさえ、この共同体が寺の経済基盤を支え、B (中略) 寺が檀家を経済的に支える」というような関係は成立していた」

だすことによつて、持続可能な地域、コミュニティ、共同体をつくりだそうとする」とある。15行目の「何らかの経済活動を通して人々が持続的に結びつく」も参考にしよう。「等身大」が「自分たちの力でできる範囲で」という意味を表していることがポイントだ。

#### 選択肢判定ポイント

「持続的な経済」を「永続的な経済」と取り違えた選択肢は×だ！

⑦ 内外の賛同者が継続して結びつき、自分たちの力に見合った経済活動を行うこと。

イ 構成員の均等な支出によつて、恒久的に平等な配分が可能な経済をつくりだすこと。  
 × 「広範な支援者」「持続的」「等身大」の内容に合致しているが、正解。

ウ 広範な支援を呼びかけることによつて、永続的に地域の経済が発展すること。  
 × 「構成員の均等な支出」「恒久的に平等な配分が可能な経済」が傍線部、および前後の文意に合っていない。

エ 外部の人たちの支援が共同体を活性化し、震災前と同じ規模の経済をつくりだすこと。  
 × 「持続的な経済」「永続的に地域の経済が発展する」とではない。また、「等身大」の説明がない。

オ 暮らしを守り合うのに必要な程度の経済を、持続的につくりだすこと。  
 × 「震災前と同じ規模の経済をつくりだす」という意味ではない。  
 現代的な共同体は「暮らしている人々だけのものではない」とあり、「等身大」は「暮らしを守り合うのに必要な程度の」という意味ではない。

#### 問六 主題研究

傍線部では「市場原理を超えた経済活動」という言葉が難しいが、ここでは「一般的な需要と供給、生産と消費による経済活動の枠におさまらない活動」という意味だ。少し前の「関係を基盤にして地域をつくる」「この経済活動は多くの支援者を獲得することによつて成立している」という部分とあわせると、筆者が考える新しい社会原理が見えてくる。

#### 1 新しい共同体のかたち

直前の内容に対して、「もちろん」で反対の事例をあげて、「しかし」以降で述べたいことを述べる、というパターンだ。空欄Bは前後の並立関係を捉えることで解ける。

#### 問三 文意

日本の伝統的な共同体についての説明は①段落に書かれている。①段落を読んでいくと、最後に「暮らしを守るためには」とあるのに気づくだろう。あとに続く部分が傍線部と同じ内容であることもポイントだ。

#### 問四 文意

傍線部に「このあり方の現代的なかたち」とあるので、まず「このあり方」の内容を確認しよう。「このあり方」とは、共同体が経済活動と直接、間接的に結びついていることをさしている。それが震災後、どのように「現代的なかたち」になったのかを、②段落の内容からまとめていく。ポイントは、「外部の人たちも結びつき、共同して新しい事業を創造する」「共同体の構成メンバーのなかに関係を結んだ外の人たちも加わっている」というかたちとあるように、「外部の人たち」が「共同体」の「構成メンバー」に加わっているということだ。

#### サポートパネル

「持続的な共同体」：「経済的にも直接、間接的に支えていく」とい  
 = う仕組みを備えている」  
 「このあり方」の現代的なかたち  
 = 共同体の構成メンバーのなかに関係を結んだ外の人たちも加わっているというかたち

#### 問五 文意

傍線部を含む文の内容を再確認するようにしよう。「この事業は広範な支援者の支えによつて成立し、そこに持続的な経済を等身大でつくり

#### 選択肢判定ポイント

傍線部の前半、後半の内容を過不足なく捉えているものを選ぶ！

ア 外部からの支援者の参入が、コミュニティの存在意義を新しくし続けていること。  
 × 「コミュニティの存在意義を新しくし続けている」という意味ではない。

イ 単なる需給関係ではない経済活動によつて、古い市場原理が衰退していること。  
 × 「古い市場原理が衰退している」というわけではない。

ウ 新しい市場原理に基づくと、コミュニティが経済格差を小さくするのに役立つこと。  
 × 「新しい市場原理」というわけではない。

エ 関係性を基盤とした経済活動の参加者たちによる、新たな共同体が形成されたこと。  
 × 「新しい市場原理」というわけではない。

オ 多くの支援者の獲得が持続的な経済活動を可能にしていること。  
 × 内容は誤りではないが、傍線部全体の説明になっていない。

#### 主題研究

震災後の共同体では、関係の持続という価値を共有する市場原理を超えた経済活動が、ひとつこの社会原理をつくりだそうとする試みとして展開しはじめている。

#### 出典解説

「内山節のローカリズム論」(二〇一二年平成二四)農山漁村文化協会刊。地域、コミュニティ、共同体について問直し、これからの社会のかたちをどこに求めるべきかについての考察。  
 内山節(1950年昭和三五)東京生まれ。哲学者。主な著書に「怯えの時代」「共同体の基礎理論」「文明の災禍」などがある。

アイデアが生まれるとき

森博嗣

主題研究  
アイデアに至るプロセス

本体P.6・7

① 自由にものを考えることは、非常に高度な頭脳活動である。この世にないもの、あり得ないもの、全く無関係なもので、突然頭に思い浮かぶことがある。それらをつぎ取り出して、使えるか使えないかを取捨選択して、これが、アイデアを思いつくプロセスである(言葉にすると、こんな味気ないものになる)。

② このプロセスのうち、後半の「使えるか使えないか」を確かめる思考は、計算的・論理的な推測である。この作業は、本人ではなく他者、複数の人たちの協力を得ることもできるし、ほとんどの場合、コンピュータによる支援が可能だ。一人の頭脳でやるよりもその方が速い。しかし、前半の「発想する作業」は、個人の頭脳が活躍する。事情を正確に理解した他者がいれば複数で議論をしたりすることも可能だが、発想するのはあくまでも「個人的」な行為である。

③ 手当たり次第ランダムに思い浮かべるのではなく、近いもの、似ているもの、というようなイメージで見回していく。すなわち、使えそうなものは、頭の中では「近い」場所であり、「似ている」ものなのだ。この場合の「近い」というのは、世間一般のジャンルではない。その人の頭の中で近いところに置かれている、という意味である。また、「似ている」というのも、形なのか色なのか、機能なのか、わからない。その人が捉えるアイデアの雰囲気は、類似的なものである。

④ いろいろなものを抽象的に捉える人は、曰く「頃から、抽象的なものを見ているから、頭の中に、それらがぼんやりとした状態をもっと収まっている。ぼんやりとしているため、他のものよりリンクしやすい。なんとなく、あれが近そうだ、どことなく似ていないか、というように連想され、紐をたぐり寄せるように、頭の中から引っ張り出されることになる。発想をする以前にも、この種の連想を繰り返しているのだから、なんとなく関連のあるものが、「近く」に置かれ、「似ている」ものとして認識されている。だから、いざというときに取り出せるのである。

⑤ 多くのマイデマというものは、こういう理屈の道筋で、発想によって生まれる。これは、

物理学や数学の偉大な発見においても、同じだっただろう。あとになって、「樹から落ちる林檎を見て気づいた」というように、ヒントとなった理屈が語られるけれど、林檎は全く無関係なものだ。ただ、単に、\*ニュートン…一六四二年〜一七二七年。イギリスの物理学者・数学者・天文学者。

問二 空欄補充 空欄A・Bにあてはまる語句を次からそれぞれ選べ。  
A 個人的 イ 抽象的  
ウ 能動的  
エ 論理的

A E B  
ア

問三 指示 傍線部①のまじっている内容を本文中の語句を用いて三十文字以内でせよ。

自由が発想して、使えるか使えないかを取捨選択すること。(二十七字)

問四 文意 傍線部②とあるが、これについて説明した次の文の空欄にあてはまる表現を自分で考えて五文字以上十文字以内で答えよ。  
その人の頭の中で、使える [ ] として、「近い」場所に置かれているもの。

可能性が高い (あ) (あ) (あ) (あ) (あ)

問五 語意 傍線部③とあるが、「ここ」はどのような意味か。あてはまるものを次から選べ。

問六 文意 「かもしれない」(六字)など「使えそう」の意味内容がほぼ可。  
空欄にあてはめて文意が不自然になるものは不可。

2 アイデアが生まれるとき

問三採点基準 「発想すること(頭に思い浮かべること・思いつくこと)」の要素が4点。「使えるかどうかを判断すること」「取捨選択すること」の要素がそれぞれ2点。文末が「こと」になっていないものはマイナス2点。  
問三別解 自由にものを思い浮かべ、使えるかどうか取捨選択すること。(二十八字)

問七 主題研究 傍線部④とあるが、どういふことが次から選べ。  
ア ニュートンのような偉大な発見をする人は、どんな些細な現象からも法則を見出すものだといふこと。  
イ アイデアは頭の中で複雑に結びついた要素から生まれるので、林檎はその象徴であるといふこと。  
ウ 樹から落ちる林檎の語はニュートンの頭の中で起こったこと、実際の出来事ではないといふこと。  
エ ニュートンが林檎を見て偉大な発見を心たしたのは、あとからできた作り話であるといふこと。  
オ ある発想とそのきっかけの多くは、偶然結びついたにすぎないといふこと。

問六 文意 傍線部④とあるが、この説明を解答欄に合う形で本文中から十五文字以内で抜き出せ。 [4点]  
イメージの雰囲気類似している(十五字)

ここは ステーション  
空欄に適切な語句を入れよ。  
取捨選択 条件に合うものを取り、合わないものを捨てること。  
プロセス 物事を進める手順、過程。  
推測 推し量ること。  
推量 推察・推測。  
支援 力を貸して助けること。  
援助 後援。  
認識 理解。  
発見 知識 理解。  
類似性を含む次の文から、用法の誤っているものを選べ。  
ア 類似的に災害が起こる。  
イ 類似性のある二つの現象。  
ウ プラズマの類似品に注意。  
エ 類似性のある二つの現象。

問一 漢字 傍線部①の読みを示し、②を漢字に改めよ。 [2点×4]  
① 頃  
② 筋道  
③ 縲  
④ 筋道

本文タイエレスト  
空欄にあてはまる語句を抜き出せ。 [2点×2]  
① [序論]  
アイデアを思いつくプロセス  
② 取捨選択：協力・支援が可能  
③ [本論]  
イメージの雰囲気  
近いもの、似ているもの  
= 使えそう  
なもの  
発想する頭の中  
④ [本論]  
ぼんやりとした広がり  
= なんとなく関連のあるもの  
近いもの、似ているもの  
= 似たようなもの  
⑤ [結]  
多くのアイデアは、理屈のない、筋道のない発想から生まれる。  
抽象的に捉える人の頭の中  
似たようなもの、似ているもの、近いもの、似ているもの、というように取り出せる

# アイデアが生まれるとき

## 主題研究 アイデアに至るプロセス

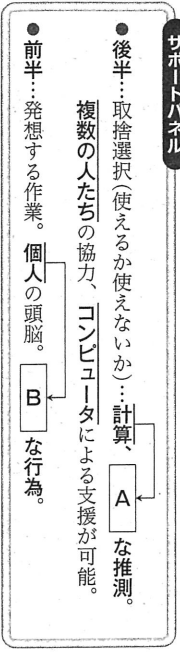
筆者は作家だが、工学博士でもある。出典では、思い込みや常識にとられない「抽象的思考」の養い方について述べている。

本文では、人が物を考え、アイデアを思いつくプロセスについて取り上げている。一般的には、アイデアとは具体的な思考を積み重ねて得るものだと思われているかもしれないが、筆者は抽象的に捉える人のほうが、ぼんやりとした広がりの中から「近いもの、似ているもの」を関連つけて取り出すことができるという。アイデアの偶然性を説明していて、おもしろい見解となっている。

### 【読解のしかた】

#### 問二 空欄補充

キーワードを補充する問題。空欄Aは、アイデアを思いつくプロセスの後半について、空欄Bは、プロセスの前半についての内容だ。



空欄Aは直前の「計算」に類似した意味であることから「論理的」、空欄Bは直前の「個人」を受けて「個人的」が入るとわかる。

#### 問三 指示

「これ」のさす範囲に注意しよう。「アイデアを思いつく」だけなら「突然頭に思い浮かべる」となるが、「プロセス」という語が入っているので、「それらをつきつき取り出して、使えるか使えないかを取捨選択」

### 選択肢判定ポリシー

キーワードの類義語を選ぶ⇒対義語は除外！

- ア 難解で哲学的  
難解は保留するとして、哲学的はあてはまらないので×。
- イ 曖昧で流動的  
「曖昧」も「流動的」も「抽象的、ぼんやり」の類義語であるから正解。
- ウ 明快で固定的  
「明快」は「ぼんやり」の「固定的」の意味に反するので×。
- エ 具体的で連想的  
「具体的」は「抽象的」の対義語なので×。
- オ 相対的で観念的  
相対的は「他の比較で見え」という意味で、「ぼんやり」にはあてはまらないので×。

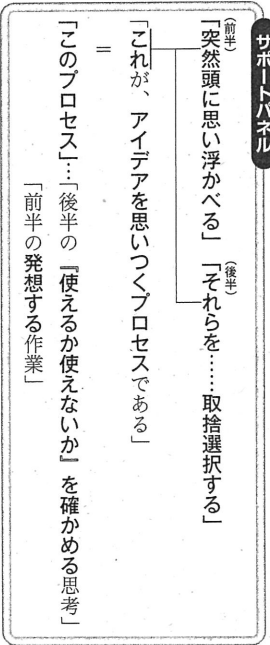
#### 問六 文意

16行目に「他のものとリンクしやすいもの」「傍線部の直後に」「近く」に置かれ、「似ている」もの「とあるが、これらは、抽象的な思考をする人にとって「なんとなく関連のあるもの」がそのような性質であることを述べられているにすぎない。「近い」「似ている」という言葉について説明されている③段落から探すが正解だ。

#### 問七 主題研究

林檎はニュートンが万有引力を発見するきっかけになったと言われているが、筆者は「林檎は全く無関係なもの」「たまたまニュートンの頭の中で、それが「近く」に落ちた」と述べている。③・④段落で説明されていたように、発想とは、頭の中で、世間一般では無関係なものが「なんとなく」結びつくことによって行われるわけだ。林檎は、「たまたま」「なんとなく」ニュートンの発想と結びついた。つまり、アイデアと発想のきっかけが結びつくのは「偶然」ということだ。

することも含まれている。②段落の冒頭に「このプロセス」とあり、以下に、「後半の「使えるか使えないか」を確かめる思考」、前半の発想する作業」とあるので、「プロセス」には前半と後半の二つの内容が含まれているとわかるわけだ。



#### 問四 文意

③・④段落は、発想する人の「頭の中」を説明している段落。④段落の「抽象的」思考とは、一点に視点を定め、ぼんやりとした見方のことをさしている。そのほうが頭の中に「広がり」があって、意外なものが結びつきやすいという。この結びつく関係を表した言葉が「近いもの、似ているもの」というキーワードだ。この言葉は、直後で「使えそうなもの」と言い換えられている。つまり、「使える可能性が高いもの」(六字)または「使えるかもしれないもの」(六字)ということだ。

#### 問五 語意

問四の解説でふれたように、「抽象的」思考とは、一点に視点を定め、ぼんやりとした見方のこと。そのほうが「広がり」があって、意外な結びつきが生まれやすいわけだ。よって、抽象的、ぼんやりとした、つながる語を選ぶ。逆に言えば、具体的、はっきり、つながるものは選べない。このように対義語を活用することも重要だ。

### 選択肢判定ポリシー

関連する段落の内容に矛盾しないものを選ぶ！

- ア ニュートンのような偉大な発見をする人は、どんな些細な現象から法則を見出すものだとしたこと。  
「どんな些細な現象から法則を見出す」という意味ではないので×。
- イ アイデアは頭の中で複雑に結びついた要素から生まれるので、林檎はその象徴であるということ。  
「林檎はその象徴である」という表現に矛盾があるので×。実際の出来事ではないということ。
- ウ 「樹から落ちる林檎」の話はニュートンの頭の中で起こったこと、実際に出来事ではないということ。  
実際に起っている可能性がないわけではなく、「実際の出来事ではない」と断定はできないので×。
- エ ニュートンが林檎を見て偉大な発見をしたというのは、あとから作られた作り話であるということ。  
「あとから作られた作り話である」とは書かれていないので×。
- オ ある発想とそのきっかけの多くは、偶然結びついたにすぎないということ。  
傍線部直後の表現、および④段落の内容とも矛盾しないので正解。

#### 主題研究

ニュートンが万有引力と林檎を頭の中で勝手に関連つけたように、アイデアは個人の頭脳が理屈なしに発想するものである。

### 出典解説

「人間はいろいろの問題に『つひつひつ』と考えて『つひつひつ』の『か』」(二〇三三頁(平成二五)、新潮社刊。問題に直面したとき、本当に必要なのは思い込みや常識にとられない「抽象的思考」であると説く。  
森博嗣 一九五七年(昭和三二)。愛知県生まれ。小説家。工学博士。主な作品に『すべてがFになる』『スカイ・クロラ』などがある。



## 休校中課題「春のめざめ」解答

※丸つけ、書き込みまでして提出を！

一

問一 A ラ行四段活用動詞「なる」の未然形

B 断定の助動詞「なり」の終止形

C 推定の助動詞「なり」の已然形

D ラ行四段活用動詞「なる」の連用形

問二 ① とても／驚きあきれたことだ／よ。

④ おなりに／なれ／ないだろう。

問三 「聞こえ」は、(謙譲語)で作者から(斉信)への敬意を表し、

「給ひ」は、(尊敬語)で作者から(誠信)への敬意を表す。

※他、それぞれ左衛門や弟殿なども可

問四 i 誠信 ii 誠信 iii 斉信 iv 誠信

問五 (どうして中納言を望めるだろうか、いや望めない)という思い。

問六 ア 尊敬語

イ 食べ物も少しも召し上がらないで、

問七 中納言になれなかったことで、斉信と道長を深く恨む気持ち。

問八 出典(大鏡)

ジャンル(歴史物語)

二

1 うづき

2 奉り「謙譲の補助動詞 作者↓女御子」

給へ「尊敬の補助動詞 作者↓女院」

3 生まれた御子が女であったこと。

4 ア 尊敬の動詞 作者↓内

イ 帝が御子の誕生を非常に喜んでいる

5 ア 並一通りでなく

イ 殿や大将殿が御子をかわいがる様子

御子が男でなく女であること

7 帝の、一刻も早く御子に会いたいという気持ち

8 参上させよ。

9 謙譲の動詞 作者↓帝

10 類推の助動詞

11 御子が他に例を見ないほどかわいらしいこと

12 一日中帝は御子を目を離さないでかわいがり申し上げなされている

13 帝が御子のおむつを取り替えたりしているということ

- 1 4 御子が男であったならどんなに良かったかと残念に思っている。  
1 5 御子の誕生する前から、帝はこの女御を特別に寵愛していたが、御子が誕生してからはますます寵愛を深め、この女御のもとにばかりお通いになるということ。

1 6 院の女御

1 7 尊敬の動詞 作者↓帝(内)

1 8 院の女御が妃の位に就いたということ。

三

問一 a きたえて b しばらくばすなわち c それ

問二 ①あなたは私の評判をどう聞いているか。

③善行を行っておりながら滅びるとはどうしてか。

問三 人に与えることを好む君主は、功績をあげていない者にも褒美を与えてしまうということ。

問四 亦可ならずや。

問五 王が慈恵であると、賞罰が適切に行われなくなり、その結果国が滅びてしまうから。

問六 エ

四

1 かつて

2 ア 群 臣 莫 能 及

イ 家臣の誰も主君の武侯に及ぶものがないということ。

3 ア 朝廷の会議を終えて

イ 武侯が、家臣の誰よりも自分が優れていると感じて喜んでいるということ。

4 ア 君に憂色有るは何ぞや。

イ 主君(莊王)が浮かない表情をしているのは、どうしてですか。

5 ア かじん 私

イ 世不<sub>レ</sub>者覇

6 世界には聖人・賢者は常にいるもので、その聖人・賢者を師とし友とする者が覇者となるものであるのに、今私(莊王)の側には聖人・賢者がいないとなると、覇者となることは難しいと考えるから。

7 ア 武侯

イ よろこぶ

ウ (自らよりも優れた、聖人・賢者が側にいないことを) 莊王が悲しんだ点。

8 ア 起

イ ひそかに

ウ おそる

エ 武侯の国は、これから滅亡に向かうことになるのではないかとということ。

9 読み…ここにおいて

意味…そこで

1 0 ア 恥ずかしい表情をした。

イ 自分が優越感に浸っていることの愚かさ気づいて恥ずかしいと感じたから。